

令和 5 年度

北但行政事務組合決算審査意見書

一 般 会 計 決 算

基 金 運 用 状 況

北但行政事務組合監査委員



令和6年10月1日

北但行政事務組合

管理者 関 貫 久仁郎 様

北但行政事務組合

監査委員 羽 尻 知 充

監査委員 芹 澤 正 志

令和5年度北但行政事務組合一般会計決算  
及び基金運用状況の審査意見について

地方自治法第292条において準用する同法第233条第2項及び同法第241条第5項の規定により審査に付された、令和5年度北但行政事務組合一般会計歳入歳出決算及び決算附属書類並びに令和5年度基金運用状況について審査したので、次のとおりその意見を提出します。



## 目 次

第1	審査の対象	1
第2	審査の期間	1
第3	審査の方法	1
第4	審査の結果	1
1	総括	1
2	決算の状況	3
3	財政の状況	4
4	財産の状況	7
5	基金の運用状況	7
6	審査の所見	8
[参 考 資 料]		
	歳入歳出決算前年度比較表	9

※ 各表中、一部の表は資料の都合により千円単位で表示しており、合計と内訳の計、差引及び前年度比較が一致しない場合がある。

# 令和5年度北但行政事務組合一般会計決算 及び基金運用状況の審査意見書

## 第1 審査の対象

- 1 令和5年度 北但行政事務組合一般会計歳入歳出決算
- 2 決算附属書類  
令和5年度北但行政事務組合一般会計歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書、財産に関する調書
- 3 基金の運用状況に関する調書

## 第2 審査の期間

令和6年6月19日から9月19日まで

## 第3 審査の方法

- 1 令和5年度の一般会計歳入歳出決算書及び決算附属書類について、会計管理者及び組合当局から必要な書類の提出を求め、事項別に説明を聴取するとともに、定期監査及び行政監査並びに例月現金出納検査の結果を参考にしつつ、審査の過程に応じ適宜関係諸帳簿と照合し、計数審査を行ったほか予算執行状況等を審査した。
- 2 令和5年度の基金について、関係諸帳簿と照合し、計数及び運用状況を審査した。

## 第4 審査の結果

審査に付された一般会計歳入歳出決算及び決算附属書類は、いずれも関係法令及び議会の議決に則ったものであり、計数は関係諸帳簿と符合し正確であると認められた。また、予算の執行状況についても、おおむね適正であると認められた。

なお、要望事項等については「6 審査の所見」に述べているので、今後対応等を求める。また、軽易な注意事項等については、その都度口頭で改善指導したので記述を省略した。

以下、審査の結果は次のとおりである。

### 1 総括

北但ごみ処理施設の維持管理及び広域ごみ・汚泥の処理に関する事務を共同して行うことを主要な事業として取り組んでいる。

設計、建設、維持管理・運営を一括して民間事業者が担う公設民営（DBO）方式により事業を実施する北但ごみ処理施設整備・運営事業については、総合評価一般入札方式により、タクマグループが選定され、契約を締結した。平成28年8月から施設運営事業者としてタクマグループの設立したSPC（特別目的会社）「ほくたんハイトラスト株式会社」が運営・管理業務を行っている。

- (1) 市町別のごみの受入状況は、豊岡市27,123.26 t（前年度対比97.24%）、香美町5,892.49 t（前年度対比96.93%）、新温泉町4,930.94 t（前年度対比99.06%）、全体で37,946.69 t（前年度対比97.42%）となっている。

- (2) 排ガスの自主保証値を遵守しながら安全に施設稼働を行い、計画外休止については、水銀濃度が自主保証値を超える恐れがあったため、計7回の焼却停止を行ったが、安全を担保するための一時的な停止であり、マニュアルに基づき適正に対応し、関係者に報告も行っている。
- (3) 事業推進に当たり、地元等との協議及び報告を行っている。  
施設運営委員会を2回開催し、ごみの受入状況、環境保全状況、管理施設における監視活動、地域振興計画の進捗状況、再利用水を施設外へ放流していたことなどについて報告を行っている。  
また、毎月月例報告として、ごみの受入状況、環境監視の状況などの報告を行っており、引き続き、事業運営への理解を得るよう努めている。
- (4) 施設には、資源循環と環境保全について考える体験の場を備えることから、施設見学者を積極的に受け入れている。受入人数は、小・中学校をはじめ各種市民団体等で29団体781人、一般見学者で11人となっている。  
さらに、豊かな自然環境が存在する立地を生かし、自然との共存・共生を図るため、ふれあい体験イベントを7回開催し、計200人の参加者があった。
- (5) 施設を環境保全の先駆的施設と位置付けていることから、里山保全活動に取り組んでいる。常緑樹と落葉樹が混在する本来の山林の姿を維持し、希少植物を含む多種多様な植生を有する豊かな山林を復活、維持するために、鹿の侵入を防ぐ防護柵の管理、苗木の移植、竹林間伐などを行っている。
- (6) 台風7号により進入道路斜面の崩落が発生したため、被害拡大防止のための応急復旧工事を実施し、応急復旧工事完了後、本復旧工事を実施している。また、台風7号により土砂が流入して埋まった山の恵比オトープの浚渫工事を実施している。  
さらに、北側斜面を適切に維持管理するため、法面の除草及び排水路に堆積した土砂の撤去工事を実施している。
- (7) 主な自主財源は、ごみ処理手数料158,582,100円、資源化物売払収入62,415,822円、電力売払収入236,281,471円である。  
資源化物売払の品目は、破碎鉄、破碎アルミ、スチールカン及びアルミカン圧縮成型品、紙製容器包装等であり、第1四半期、第2四半期及び下半期で契約を行い、実績に基づき歳入している。予算に対する収入率は111.3%となっている。  
電力売払は、再生可能エネルギー電気の売電実績であり、株式会社タクマエナジーと契約を行い、実績に基づき歳入している。前年度と比較すると売電量が224,910kWh減少したものの、売電単価が上昇したことにより、売電収入が18,372,621円増額となっている。

## 2 決算の状況

### (1) 決算の概要

(単位:円)

区分	歳入総額	歳出総額	歳入歳出差引額	翌年度に繰越すべき財源	実質収支額
令和5年度	812,446,790	755,462,383	56,984,407	1,260,000	55,724,407
令和4年度	850,833,667	802,608,716	48,224,951	0	48,224,951
比較	△38,386,877	△47,146,333	8,759,456	1,260,000	7,499,456

歳入総額812,446,790円、歳出総額755,462,383円、歳入歳出差引額は56,984,407円の黒字決算となっている。また、歳入歳出差引額から翌年度に繰越すべき財源を差し引いた実質収支額は55,724,407円の黒字決算となっている。

前年度と比較すると、歳入総額は38,386,877円の減額、歳出総額は47,146,333円の減額、歳入歳出差引額(差引形式収支額)は8,759,456円の増額、実質収支額は7,499,456円の増額となっている。

### (2) 歳入

(単位:千円、%)

款別	年度	令和5年度			令和4年度 決算額	対前年比
		予算現額	決算額	収入率		
分担金及び負担金		299,426	299,426	100.0	371,286	80.6
使用料及び手数料		146,603	158,641	108.2	156,434	101.4
財産収入		285,495	299,389	104.9	285,177	105.0
繰越金		48,224	48,224	100.0	28,483	169.3
諸収入		3,672	6,766	184.3	9,453	71.6
計		783,420	812,446	103.7	850,833	95.5

当年度の歳入は、予算現額783,420千円、決算額812,446千円で、予算現額に対する収入率は103.7%となっている。決算額を前年度と比べると4.5ポイント減少している。

なお、不納欠損額及び収入未済額は0円である。

### (3) 歳出

(単位:千円、%)

目別	年度	令和5年度			令和4年度 決算額	対前年比
		予算現額	決算額	支出率		
議会費		1,746	1,319	75.5	858	153.7
総務費		52,826	50,735	96.0	51,344	98.8
衛生費		727,848	703,408	96.6	750,407	93.7
予備費		1,000	0	0.0	0	—
計		783,420	755,462	96.4	802,609	94.1

当年度の歳出は、予算現額783,420千円、決算額755,462千円で、予算現額に対する支出率は96.4%となっている。決算額を前年度と比べると5.9ポイント減少している。予算現額から決算額及び翌年度繰越額を差し引いた不用額は26,698千円である。

なお、予備費は当初予算額1,000千円であり、予備費充当の必要がなかったため、同額が不用額となっている。



(4) 決算額等の推移

直近5か年間の決算額等の推移は、次のとおりである。(単位：千円、%)

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
歳入	決算額	750,790	716,416	741,341	850,833	812,446
	前年対比	103.9	95.4	103.5	114.8	95.5
歳出	決算額	716,248	700,236	712,859	802,609	755,462
	前年対比	104.4	97.8	101.8	112.6	94.1
差引収支額		34,542	16,180	28,482	48,224	56,984
(うち繰越明許費繰越額)		0	0	0	0	1,260
実質収支額		34,542	16,180	28,482	48,224	55,724
単年度収支額		△2,091	△18,362	12,302	19,742	7,500
一般廃棄物 処理施設基金	積立額	19,004	19,202	19,101	21,069	23,331
	繰入額	0	0	0	0	0
実質単年度収支額		16,913	840	31,403	40,811	30,831

※ 一般廃棄物処理施設基金は、実質黒字要素として位置付けている。

### 3 財政の状況

歳入総額812,446千円の内訳は、分担金及び負担金〔構成市町負担金〕299,426千円（構成比36.9%）、使用料及び手数料158,641千円（構成比19.5%）、財産収入299,389千円（構成比36.9%）、繰越金48,224千円（構成比5.9%）、諸収入6,766千円（構成比0.8%）である。

歳入では、ごみ受入量は前年度と比較して減少したが、直接搬入量が増えているため、ごみ処理手数料は増収となっている。電力売払収入は、売電量が若干減少したものの、8月の売払単価の改定により単価が上昇したため、増収となっている。資源化物売払収入は、ほとんどの品目で搬出量自体が減少したため、減収となっている。また、再商品化事業拠出金は、委託単価が低下したため、減収となっている。

歳出総額755,462千円の内訳は、議会費1,319千円（構成比0.2%）、総務費50,735千円（構成比6.7%）、衛生費703,408千円（構成比93.1%）である。衛生費〔(項)清掃費(目)施設運営管理費〕の主な支出は、施設運営委託業務493,300千円、ばいじん処理委託業務30,359千円、最終処分場負担金83,981千円である。

歳出では、台風7号接近に伴う豪雨により発生した進入道路斜面の崩壊箇所の応急復旧工事等を実施したため、工事費が増加しているが、全体としては、おおむね見込みどおりの執行となっている。

なお、施設運営委託業務は、令和18年度までの債務負担行為を設定し、ほくたんハイトラスト株式会社に委託している。(管理運営業務の全体契約額8,842,050千円)

(1) 性質別歳出の状況

性質別歳出の状況は、次のとおりである。

(単位：円)

区 分		令和5年度	令和4年度	対前年度 増 減
		決算額	決算額	
経常的 経 費	人件費	17,232,726	16,264,668	968,058
	物件費	553,636,640	540,201,778	13,434,862
	維持補修費	3,116,668	1,106,406	2,010,262
	補助費等	132,812,652	135,868,032	△3,055,380
	公債費	0	0	0
	小計	706,798,686	693,440,884	13,357,802
臨時的 経 費	物件費	9,615,100	2,307,800	7,307,300
	普通建設事業費	15,717,100	85,791,200	△70,074,100
	積立金	23,331,497	21,068,832	2,262,665
	小計	48,663,697	109,167,832	△60,504,135
合 計		755,762,383	802,608,716	△47,146,333

(2) 構成市町負担金の内訳

構成市町負担金の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

区 分	処理（運営）費分	処理施設整備費分	地域振興費分	負担額合計
豊岡市	182,613,171	19,989,300	0	202,602,471
香美町	47,102,939	5,332,950	0	52,435,889
新温泉町	39,709,890	4,677,750	0	44,387,640
合 計	269,426,000	30,000,000	0	299,426,000

※1 処理（運営）費分の負担割合は、均等割（10%）、ごみ量割（90%）である。

※2 処理施設整備分の負担割合は、均等割（15%）、人口割（85%）である。

※3 地域振興費分の負担割合は、均等割（15%）、人口割（85%）である。

(3) ごみ処理手数料の内訳

ごみ処理手数料の構成市町の内訳は、次のとおりである。

ア ごみ受入量

(単位：台、t)

区 分	燃や す ご	燃や さ ない ごみ	粗 大 ご	ビン・ カン	ペット ボトル	その他	計
豊岡市	38,881	5,834	6,336	845	337	1,877	54,110
	22,268.01	996.05	918.66	473.57	87.81	2,379.16	27,123.26
香美町	9,805	1,079	1,296	338	145	1,439	14,102
	3,986.20	170.26	205.45	131.24	27.99	1,371.35	5,892.49
新温泉町	3,994	389	801	8	2	409	5,603
	3,871.15	126.19	171.80	0.36	0.06	761.38	4,930.94
合 計	52,680	7,302	8,433	1,191	484	3,725	73,815
	30,125.36	1,292.50	1,295.91	605.17	115.86	4,511.89	37,946.69

※1 市町別の上段は台数、下段は重量である。

※2 新温泉町のビン・カン及びペットボトルは、一般の方が施設に直接持ち込みされたものである。

※3 重量は、搬入時の計量データによるものである。

イ ごみ処理手数料

市 町	区 分	台数 (台)	重量 (t)	料金(円)	料金割合 (%)
豊岡市	許可	7,012	7,712.10	77,121,000	48.63
	一般	28,491	2,202.26	22,022,600	13.89
	一般事業系	7,462	2,260.07	22,600,700	14.25
	県・官公庁	54	15.75	157,500	0.10
	計	43,019	12,190.18	121,901,800	76.87
香美町	許可	432	404.38	4,043,800	2.55
	一般	6,589	576.59	5,765,900	3.64
	一般事業系	2,307	836.12	8,361,200	5.27
	県・官公庁	29	6.59	65,900	0.04
	計	9,357	1,623.68	18,236,800	11.50
新温泉町	許可	863	1,100.68	11,006,800	6.94
	一般	2,113	215.30	2,153,000	1.36
	一般事業系	832	526.48	5,264,800	3.32
	県・官公庁	13	1.89	18,900	0.01
	計	3,821	1,844.35	18,443,500	11.63
総 計		56,197	15,858.21	158,582,100	100.00

※ 関係市町（直営、汚泥、災害ごみ等）及び収集運搬委託業者については、ごみ処理手数料は徴収しない。

※ 許可とは、一般廃棄物収集運搬許可業者、一般とは、一般家庭や登録事業者（手数料後納業者）ではない事業者、一般事業系とは、登録事業者（手数料後納業者）のこと。

(4) 実質収支の状況

実質収支に関する調書を、歳入歳出決算書及び同事項別明細書と照合して審査した。当年度における実質収支は、55,724千円の黒字となっている。

(単位：千円)

区 分	金 額
歳 入 総 額	812,446
歳 出 総 額	755,462
歳入歳出差引額	56,984
翌年度へ繰越すべき財源	1,260
実 質 収 支	55,724

#### 4 財産の状況

財産に関する調書及び財産台帳により審査した。その概要は、次のとおりである。

##### (1) 土地及び建物 (単位：㎡)

区 分			土地（地積）	建物（延べ面積）	参 考
			現 在 高	現 在 高	
行政 財産	その他の 行政機 関	廃棄物処理施設	22,350.00	15,807.25	クリーンパーク 北但
	公共用 財 産	山 林	282,485.58	56.70	森林里山ゾーン、 進 入 路
		その他の施設	881.81	40.57	管理施設
合 計			305,717.39	15,904.52	

##### (2) 物品〔車両及び100万円以上の物品〕 (単位：台)

区 分	前年度末 現 在 高	決算年度中 増 減 高	決算年度末 現 在 高
その他特殊車両 (油圧式バックホウ)	1	0	1
その他機械 (竹粉製造機)	1	0	1
合 計	2	0	2

#### 5 基金の運用状況

##### (1) 審査の結果

審査の対象とした一般廃棄物処理施設基金は、北但行政事務組合が設置した一般廃棄物処理施設の撤去に必要な財源を確保するため設置された基金である。その計数は正確であり、設置目的に則して適正に運用されていると認められた。

##### (2) 基金の運用状況

基金の決算年度末現在高は143,210千円で、前年度より23,331千円増加している。これは、電力売払収入の一部と基金の運用から生じた収益を積み立てたものである。

また、当年度の基金の運用益金は465千円で、(款)財産収入(項)財産運用収入(目)利子及び配当金に収入されている。

＜基金の運用状況（令和6年3月31日現在）＞ (単位：千円)

区 分	前年度末 現 在 高	決算年度中 増 減 高	決算年度末 現 在 高	備 考
一般廃棄物 処理施設基金	119,879	23,331	143,210	現金、債券
合 計	119,879	23,331	143,210	

※ 基金については、定期預金及び普通預金並びに債券で運用している。

## 6 審査の所見

事務処理等に係る要望事項については、次のとおりである。

### 〔要望事項〕

#### (1) 一般廃棄物処理施設基金について

基金については、将来の施設取壊しへの財源の一部として、クリーンパーク北但において発電する再生可能エネルギー電気の売電収入の概ね1割を積み立てることとしている。

施設取壊しのための財源手立てが限られている中で、有効な手段の一つであり、関係市町の健全な財政運営に資するため、計画的な基金の積立てを継続されたい。

#### (2) 自主財源確保のための取組について

主な自主財源である再生可能エネルギー電気の売電収入は、売電量が若干減少したものの、売払単価が上昇したことから前年度に比べて増収となっているが、売払単価は市場相場の影響を受けるため、今後の状況によって減収となることも想定される。

また、資源化物売払収入は、ほとんどの品目で搬出量自体が減少したため、減収となっており、今後の搬出量や売払単価の状況によっては減収が続くことも想定される。

関係市町の負担軽減に資するために、今後も歳入確保の取組を着実に推進し、収入事務を適正に執行するとともに、より一層の自主財源確保について研究されたい。

#### (3) 関係市町負担金について

事業の運営に必要な経費を積算し、処理（運営）負担金は、均等割及びごみ量割で決定され、関係市町負担金は適宜精算措置が行われている。

今後の事業運営において、引き続きコスト縮減の努力を行うとともに「最少の経費で最大の効果を」という地方自治の原則を十分認識し、限られた資金を有効に活用するよう一層留意されたい。広域ごみ・汚泥処理の質の高いサービスを継続して実現されることを期待している。

#### (4) 北但地域の循環型社会形成に向けて

ごみ処理は住民の生活を守る不可欠で大切な仕事であり、今後とも「ほくたんハイトラスト株式会社」との連携・協力のもと、北但地域の循環型社会形成に向けて安全・安心な施設運営に取り組まされたい。

施設管理のリスクを把握するため、監督・モニタリングを継続して実施し、経費節減の可能性の協議も続けていただきたい。

当該施設が環境学習や地域交流の拠点施設として地域に貢献され、さらに成長するよう望むものである。

#### (5) 不適切な事案の再発防止について

令和3年4月に場内使用限定の再利用水が周辺地区との取り決め反して場外に放流されていたことが判明し、周辺住民に謝罪する事案が発生している。

今後、このような事案が発生することが無いよう、施設運営委託業者である「ほくたんハイトラスト株式会社」に対し、監督・指導を強化する等、再発防止に努められたい。

[参考資料]

歳入歳出決算前年度比較表

歳入

(単位:千円、%)

	令和5年度 決算額	令和4年度 決算額	比較 増減	令和5年度		
				不納欠損額	収入未済額	収入率
分担金及び負担金	299,426	371,286	△ 71,860	0	0	100.0
負担金	299,426	371,286	△ 71,860	0	0	100.0
使用料及び手数料	158,641	156,434	2,207	0	0	108.2
使用料	59	107	△ 48	0	0	101.7
手数料	158,582	156,327	2,255	0	0	108.2
財産収入	299,389	285,177	14,212	0	0	104.9
財産運用収入	465	368	97	0	0	100.0
財産売払収入	298,924	284,809	14,115	0	0	104.9
繰越金	48,224	28,483	19,741	0	0	100.0
繰越金	48,224	28,483	19,741	0	0	100.0
諸収入	6,766	9,453	△ 2,687	0	0	184.3
組合預金利子	5	5	0	0	0	500.0
雑入	6,761	9,448	△ 2,687	0	0	184.2
合計	812,446	850,833	△ 38,387	0	0	103.7

※ 収入率は、予算額に対するもの

歳出

(単位:千円、%)

	令和5年度 決算額	令和4年度 決算額	比較 増減	令和5年度		
				支出率	翌年度 繰越額	不用額
議会費	1,319	858	461	75.5	0	427
議会費	1,319	858	461	75.5	0	427
総務費	50,735	51,344	△ 609	96.0	0	2,091
総務管理費	50,735	51,344	△ 609	96.0	0	2,091
衛生費	703,408	750,407	△ 46,999	96.6	1,260	23,180
清掃費	703,408	750,407	△ 46,999	96.6	1,260	23,180
予備費	0	0	0	0.0	0	1,000
予備費	0	0	0	0.0	0	1,000
合計	755,462	802,609	△ 47,147	96.4	1,260	26,698